



学校だより

令和 7 年 11 月吉日
上越市立有田小学校
校長 野田 晃

音楽発表会での「学び」

音楽発表会の子どもたちの振り返りです。(読みやすいように少し修正しています。)

鍵盤ハーモニカを頑張れてうれしいし、「おーい」って言えたのも、「えいや」も頑張ったので100点だと思った。自分もみんなも楽しそうに楽器とか演奏していて、上手だなんて思った。楽しい音楽会だった。次は、鉄琴、カスタネット、タンバリンを頑張りたい。大太鼓も頑張りたい。すごく楽しかった。本当に最高の音楽発表会だった。(1年生)

最初は緊張していました。お母さんとお父さんが来ていました。畑のポルカを歌いました。セリフを言うのが恥ずかしかったです。「めあて」で後ろを向かないようにしました。セリフをはっきり言えました。鍵盤ハーモニカは間違えちゃいました。最後に、「もみじ」を歌いました。楽しかったです。(2年生)

今日は音楽発表会でした。パフはうまくできた。ハッピーソングもとても歌声が良かったと思った。ステージに立つと、丸山先生、南先生、坪野先生、石井先生がいた。妹がとても楽しそうにしていた。最後に4年生と一緒に「もみじ」を歌うのも、とても楽しかった。(3年生)

およそ1ヶ月練習してきました。最初「茶色の小瓶」をやった時、「できるはずない」と思いました。でも今日、本番。みんなの音を聞きながら演奏して、指づかいを頑張りました。「茶色の小瓶」の指づかいを間違えなしで演奏できたのがうれしかったです。(4年生)

木琴のオーディションに受かるために、家でたくさん練習し、受かったので、木琴の演奏を、自分のできる限り、頑張りました。来年もオーディションに参加して、受かっても受からなくても、自分が演奏する楽器を頑張りたいです。どの学年も、合唱も合奏も迫力があって、「音楽は人を楽しませる、幸せにする」ことを実感しました。(5年生)

みんなと楽しく歌を歌えました。自分のいつもの声よりも大きく声を出すことを頑張りました。いつもの音楽のときよりもみんな声が出ていてすごかったです。高音も低音の音が分かるくらい声が出ていました。最後の音楽発表会が最高になりました。(6年生)

最初は曲の速さに驚いて、本当にリコーダーのすべてのパートを吹けるのか心配だったけれど、練習を重ねることに速いペースで吹けるようになりました。本番では少しだけ緊張してミスをしてしまったけれど、小学校生活最後にふさわしい最高の演奏ができて良かったです。(6年生)

とても声が出ていました。息の合った演奏でした。真剣なまなざし、リズムを取る姿、様々な音が重なった響き、発表が終わったときの凛々しい姿、素晴らしかったです。「音楽は人を楽しませる、幸せにする」と、子どもの感想にありました。本当に、そうだなあと感じます。また、音楽発表会を振り返って自分の気持ちを書くことを通して、「練習を繰り返すことの大切さ」「みんなで成し遂げることの喜び」「みんなで創り出すことの楽しさ」そして、「自分に対する信頼や自信」に気付き深めています。「音楽の技能やよさ」だけでなく、自分のこれからの成長にとって大切なことを、たくさん学ぶことができた音楽発表会でした。